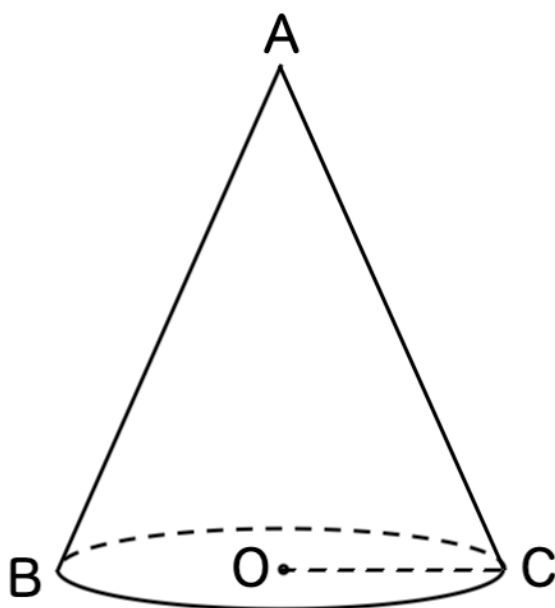


- 下図のような円錐がある。ACが12cm、OCが5cmとするとき、円錐の底面積を求めよ。円周率は3.14とする。

底面積なので中心Oとする円の面積を求めれば良い。

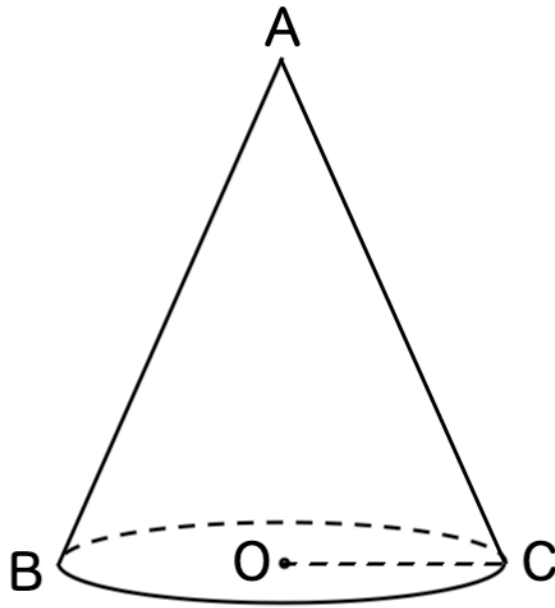
円の面積は半径×半径×3.14で求まるので $5\text{ cm} \times 5\text{ cm} \times 3.14 = \underline{78.5\text{ cm}^2}$



■ 下図のような円錐がある。ACが12cm、OCが5cmとすると、円錐の側面積を求めよ。円周率は3.14とする。

円錐の側面積は母線×底面の半径×円周率で求まる。

よって、 $12\text{cm} \times 5\text{cm} \times 3.14 = \underline{188.4\text{cm}^2}$



■ 下図のような円錐がある。ACが12cm、OCが4cmとすると、円錐の**表面積**を求めよ。円周率は3.14とする。

表面積＝底面積＋側面積で求める。

$$\text{底面積} = 4 \times 4 \times 3.14 = 50.24 \text{ cm}^2$$

$$\text{側面積} = 12 \times 4 \times 3.14 = 150.72 \text{ cm}^2$$

$$\text{表面積} = 50.24 \text{ cm}^2 + 150.72 \text{ cm}^2 = \underline{\underline{200.96 \text{ cm}^2}}$$

